

けんこうだより

令和6年6月号



今回のテーマは『 **がん検診** 』について

「がん」は健康に気をつけていても、誰もがなり得る身近な病気です。
しかし、早期の発見であれば、多くの人が治癒できることをご存じでしょうか。
がん検診対象の方は、命を守るためにがん検診を受けましょう！

がんの早期発見理論

がんを早期発見し、
治しうる期間



無症状

この時期に、がん検診を
受けることが大切です！



有症状

死亡

「検診」と「診療」の違い

検診

<対象>
健康で
生活に支障がない人



<特徴>

- 自治体や職場の勧奨で受診
 - 有病率が低い
- 発見されるがんは、「早期がん」であることが多い。
- 身体的・経済的負担が少ない

診療

<対象>
症状があり、
生活に支障がある人



<特徴>

- 自主的に受診
 - 有病率が高い
- 発見されるがんは進行してしまっている場合もある。
- 身体的・経済的負担が大きい場合もある

がん検診は1度受けたら終わり？ 検診は定期的に受けることが大切です。

がん検診は、1度受けたら終わりではありません。

1回の結果が「異常なし」でも、その後にがんができる可能性は当然あるからです。
がんはいつできるかわかりません。

そのため、定期的に検診を受け、「異常がない」ということを確認することがとても大切です。

また、どんな検査でも100%がんが発見できるわけではありません。
前回の検診で「異常なし」だったとしても、その後気になる症状が現れた場合には、次の検診を待たず、医療機関を受診してください。



精密検査が必要と判定されたら？ 症状がなくても必ず精密検査を。

がん検診で精密検査が必要と判定されたのは、
「がんの疑いを含め、異常や病気がありそう」と判断されたということ。

その原因についてより詳しい検査を行い、本当に異常があるのか調べる必要があります。
「症状がない」「健康だから」といった理由で精密検査を受けないと、検診で見つかるはずのがんを放置している可能性もありますので、精密検査は必ず受診しましょう。

また、精密検査を受けられる医療機関や検査方法は、がんの種類によって異なります。
詳しくは、桐生市健康長寿課や、検診を受けた医療機関から案内を受けてください。

検診を受けたら、..

100点
チャレンジ

に取り組みましょう！

< 取り組み方法 >

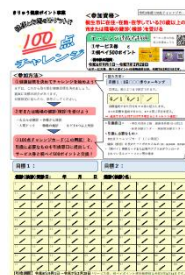
- ① チャレンジしたい目標を2つ決める
- ② 受けた検診名を用紙に記入
- ③ チャレンジを続けてマスを進める
- ④ 窓口で桐ペイ 500 円



とサービス券



を手に入れましょう！



健康長寿課 成人保健係
TEL 0277-44-8247